

会 議 録

平成19年7月17日調製

審議会等名	平成19年度 第1回 社会教育委員会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成19年6月26日(火) 午後2時～3時50分		
開催場所	三条市中央公民館 講義室	傍聴者	なし
出席者氏名	社会教育委員 広部隆司委員 丸山照子委員 安藤正之委員		
	小菅 信委員 廣川邦夫委員 樋口一三委員		
	中村保夫委員 目黒徳一委員 横山正美委員		
	山田宏高委員 阿部凉子委員 太田礼子委員		
	高橋美智子委員		
	教育委員会	松永教育長 金子生涯学習課課長	
		原生涯学習課課長補佐 近藤生涯学習係長	
		石田囑託員	
	(欠席者)	なし	
議 題	(1) 平成19年度生涯学習事業の概要について		
	(2) 平成19・20年度 社会教育委員会議のテーマについて		
	(3) 委員の推薦について		
	・ 青少年育成センター運営委員		
	(4) 中越地区社会教育委員連絡協議会代議員の推薦について		
	(5) 社会教育団体の補助金について		
	(6) 社会教育委員の研修について		
発言内容等			
金子課長	皆さんお集まりですので、これより、平成19年度第1回社会教育委員会		
	議を開催いたします。新年度の第1回目の会議ですので、議長・副議長が		
	不在でございます。これから選出することになりますが、選出されるまでの		
	間、事務局側で進行させていただきますのでよろしくお願いいたします。		
	まず、開会に先立ちまして、松永教育長より辞令書の交付をいたします。		
	<辞令書交付>		
金子課長	それでは、開会させていただきます。開会の挨拶を教育長より申し上げます		

	す。
松永教育長	<開会のあいさつ>
金子課長	新年度第1回目の会議ですので、皆さんの自己紹介をしたいと思います。
	<委員自己紹介>
	<職員自己紹介>
金子課長	では、議題に入る前に、議長、副議長の選出ですが、いかがいたしまし うか。
小菅委員	昨年度から携わっていらっしゃる廣川邦夫さんを議長にお願いしてはい かがでしょうか。
金子課長	ただ今、小菅委員より、議長に廣川委員を推薦する意見がありましたが、 皆様いかがでしょうか。
	<全員拍手で了承>
金子課長	それでは、廣川委員に議長をお願いいたします。 なお、これからの議事につきましては廣川議長からお願いいたします。
	<廣川委員、議長席に移動>
廣川議長	<就任のあいさつ> 副議長の選出ですが、いかがいたしまし うか。
小菅委員	下田地区の横山さんは、合併前の下田村時代から社会教育委員をされて いらっしゃるということで、社会教育についてよくご存知と思いますので、 横山正美さんをお願いされてはいかがでしょう。
廣川議長	ただ今、副議長に横山委員を推薦する意見がありましたが、皆様いかがで しょうか。
	<全員拍手で了承>
	<横山委員、副議長席に移動>
横山副議長	<就任のあいさつ>
廣川議長	では、次第に添って議題を進めます。 議題（1）「平成19年度生涯学習事業の概要」について、事務局から説 明をお願いします。
金子課長	<配布資料の確認> <『社会教育委員の役割について』社会教育法の抜粋を読み上げ> <『平成19年度三条市の生涯学習』に基づき、概要説明>
廣川議長	『三条市の生涯学習』の冊子については事前に配布され、よくご覧になっ ていらっしゃるかと思いますが、ただ今説明していただいたことについて ご意見・ご質問等はありませんか。
阿部委員	「PTA」に対するものが一つも出てきていないことに不安が残ります。 全国的に、家庭教育の充実が謳われていて、PTA世代の活動が大切となっ

	<p>ていますが、三条市では、市 PTA 連合会の事務局を行政から離れたことで、PTA が苦しい状況となり、とても苦勞されているのを目にしたり聞いたりしています。PTA 世代の支援をもっと大切にすべきなのではないかと思えます。</p>
安藤委員	<p>確かに、PTA 連合会は、合併後の組織運営が軌道に乗らず、まだ四苦八苦している状況です。しかし、その中でも、今まで行ってきた活動は維持し、伸ばしていきたいと思っています。</p>
金子課長	<p>団体事務局の移管については、PTA 連合会に限らず、市の方針で実施してきました。独立後の支援として、市からは補助金の支出、事務をする場所の提供、会場を借りるときの減免制度などがあります。人材育成については、市では研修会を行っていませんが、県の主催で、上越・中越・下越ブロックごとに「PTA 指導者研修会」を開催しておりますので、そちらを案内し、参加していただいております。また、PTA 向けの家庭教育講座については、各年代向けに、家庭教育学級や子育て講座として開催しますし、「父親の家庭教育講座」については、PTA 連合会と協力して開催していきたいと思っています。</p>
阿部委員	<p>団体独立についての経緯や市の方針は十分承知していますが、もう少し親切に手を差し伸べることができないものかと思ったのです。</p>
金子課長	<p>事務局の場所は青少年育成センターに移りましたが、会長や事務局からは頻繁に連絡がありますので、その都度、打合せを行ったり、相談等にのったりしています。</p>
廣川議長	<p>他にご意見・ご質問はありませんか。</p>
山田委員	<p>環境保全の分野について、公民館の事業で唯一触れてありますが、観光や農業土木遺産等には全く触れていないのが残念です。下田地域には、古くからの隧道などがあり、子どもたちの好奇心をくすぐるものがたくさんあります。そのような素晴らしい歴史・地域をぜひ学習材料にとりあげてほしいと思います。</p>
金子課長	<p>地域の学習資源を取り上げることは、郷土愛を育むうえで大事な要素だと思います。文化財というと、例えば、東京駅のような建物などは登録文化財として保存されやすいのですが、文化遺産というと、なかなかそうはならない面があります。しかし、確かに山田委員がおっしゃるように、公になっていない貴重な資源がたくさんあるのも事実です。私どもでも把握していない資源がまだまだあると思いますので、そういうものはどんどんお聞かせいただき、文化財・遺産マップとして作成していきたいと思っています。</p>
山田委員	<p>子どもたちの総合学習に加えられれば良いと思います。時間に余裕のあるリタイアした方々が調査してくれると有難いです。</p>

	「農業土木遺産」については、私のテーマであり、この社会教育委員の任期である期間中、ずっと訴え続けたいと思いますので、よろしくお願いします。
松永教育長	「農業土木遺産」については、生涯学習課だけでなく、農林課や観光課と協力・連携し、構築していかなければならないことだと思います。
山田委員	今までに、市へ話をしたことがありますが、農林課では「なんて厄介な話を持ってきたんだ。」観光課では「すぐに集客に結びつけられれば良いのだが・・・」という雰囲気であまり歓迎されてきませんでした。今後、良い方向へ進むことを期待しています。
廣川議長	他にご意見等はありませんか。
中村委員	生涯学習ボランティア講座を毎年開催していますが、講座修了後は、どのように活動しているのですか。活躍の場はあるのでしょうか。
金子課長	例えば、「ITリーダー養成講座」ですと、公民館のパソコン教室に講師やアシスタントとして派遣し、活動していただいております。月1回の定例会では、講習会の進め方や困ったことなどを話し合ったり、スキルアップに努めています。「室内レクリーダー養成講座」に関しましても同じように活動しています。
廣川議長	それでは、次に議題（2）「平成19・20年度の社会教育委員会議のテーマについて」ご説明をお願いします。
金子課長	先ほどの教育長の話にもありましたとおり、平成17年度・18年度は「地域の教育力」をメインテーマにして提言もいただきました。 今年度・来年度の2年をかけたテーマとして、どのようなものが良いか、事務局としても案を持っておりますが、委員さんの中で、こんなことに取り組みたいということがあればお聞きしたいと思います。
廣川議長	19年度・20年度に開催される、今後、実質5回の会議の中で、あるテーマについて話し合い、提言を出せるように進めていくわけですが、取り組みたいテーマについて何かありませんか。皆さんいかがでしょうか。
山田委員	私は、子が子を産むような年齢になりましたが、果たして、親となる世代がちゃんと親になれるのかが心配です。社会教育とは、子どものためにあるものと思っていましたが、大人のためでもあると聞いたので、ぜひ、これから親となる若い世代が社会参加するような取り組みができれば良いと思います。
廣川議長	他にご意見はありませんか。 では、山田委員の意見はそのままで、事務局案はどんなものなのか、お聞かせください。

金子課長	団塊の世代の退職がしばらく続くので、その方々が社会・地域に関わって いける仕組みづくりについて、いかがかと思えます。
廣川議長	ただ今、事務局の方から、案が示されましたが、皆様いかがでしょうか。
阿部委員	現在、全国的に「団塊世代」と言われて大きな問題になっていますが、そ の方々は大人です。自分で考え、行動できる大人を対象とするよりも、これ から、次代を担っていく青少年やP T Aを支援していくシステムづくりの方 が大切だと思います。放課後子ども教室が市内の全小学校に広がり、継続し ていければ良いと思います。
廣川議長	地域の教育力を大事に継続するには、団塊世代からの関わりや協力なくし ては実現しないので、青少年を対象にしたテーマにしても、結局は団塊世代 につながっていくように思います。バラバラに見えるようでいて、結局は一 つにまとまるような気がするのですが、いかがでしょうか。
小菅委員	社会教育とは、とても範囲が広いように思います。対象は「ゆりかごから 年寄りまで」であり、その中の一つにスポットを当てるのはとても難しく、 掴みきれません。
太田委員	私はまさに団塊世代の一員で、小学校1クラス60人の年代です。定年退 職する年齢とはいえ、まだまだ元気で十分活動できる年代ですので、この世 代を上手く活用するシステムがあれば、より多くの団塊世代を巻き込むこと ができると思います。
阿部委員	私は今までに、何度か団塊世代の方々にいろいろな仕掛けをしてきま したが、その方々は自分たちの年代だけで大きなつながりや力があるので、外部 のことは受け入れない傾向があります。自分自身の知識向上のためにはとて も熱心ですが、ボランティア的なものにはそうではないように思います。
横山副議長	団塊世代にもいろいろな方がいらっしゃる、一概には言えないと思いま す。地域や社会に、自ら関わろうと行動できる方もいらっしゃいますが、そ うでない方もいらっしゃいます。そこで、気持ちはあっても、どう行動した ら良いのかわからない方々を迎え入れ、活用するためには、やはり、そのシ ステムづくりが必要だと思います。なぜなら、現実的に、社会の大半を占める その世代が取り組まない限り、地域は活性化できないと思うからです。
廣川議長	社会参加できない層にも浸透できるシステムが良いですね。
山田委員	現在、団塊世代の方々は、非常に楽々と生活をしています。今までに培っ た技術を若い世代に伝えていくのも大きな仕事であり、また、介護の年代で もあります。
廣川議長	いろいろな意見があり、まとまりが付きませんが、なんとなく方向が見え ているような気がしますが、いかがでしょうか。
金子課長	家庭教育やP T A世代への支援と充実を図るために、団塊世代の地域への

	関わり・協力についてということではいかがでしょうか。
阿部委員	「団塊世代の地域への関わり」だけにスポットを当てるのはいかがなものでしょうか。社会教育委員として、これから2年間議論していく中で、「団塊世代」がテーマでは、焦点を絞るすぎのような気がします。「家庭教育」というテーマの中で、青少年を考えることと同じように団塊世代の関わりを考えていくというような大きな捉えの方が適切ではないでしょうか。
廣川議長	団塊世代がどの地域にどの位いらっしゃるのかデータはあるでしょうか、その方々がどのような関わりを持ちたいと思っているのか調査することもできますし、今までどのような関わりを持ってきたのか調べていくこともできると思います。団塊世代は貴重な人材であることは確かです。
広部委員	団塊世代にスポットを当てすぎると、その世代の方々には逆に拒否され、上手く組織化できない場合もあります。 ここでの、最大の願いは、地域の活力を高めたり、人と人とのつながりを復活させたりしたいことだと思うので、団塊世代についてはサブテーマとして、いくつかある中の一つとして取り上げた方が良いと思います。他のサブテーマとしては、「放課後子どもプラン」の推進なども考えられると思います。「放課後子ども教室」も放っておけば、親は預けるだけで関わりを持たないものになってしまいます。また、「生涯学習事業の概要」の中で、公民館事業の「通学合宿」がありましたが、同世代の合宿も良いのですが、むしろ、小5・小6・中1が一緒の合宿の方が、いわゆる中1ギャップを避けるうえで、期待できるのではないかと思います。
廣川議長	では、団塊世代についてはサブテーマに持ってきて、人と人とのつながりをベースにしながら、家庭や地域の教育力向上と学校との連携について考えていければと思います
金子課長	社会で子どもを育てる運動というものをやっていますが、その運動に団塊世代にも関わっていただきたいと思います。 また、他の市町村で、団塊世代の活用について参考になる先進事例をご存知であれば教えていただき、視察などにも行ってみたいと思っております。
廣川議長	それでは、議題(3)「青少年育成センター運営委員」、(4)「中越地区社会教育委員連絡協議会代議員」について、事務局から説明をお願いします。
金子課長	昨年度までは、青少年育成センター運営委員に横山委員、中越地区社会教育委員連絡協議会代議員に橋委員にお願いしておりました。今年度から新しい任期になりますが、どなたか推薦いただけないでしょうか。
廣川議長	前年度までの状況から、青少年育成センター運営委員は中村委員に、中越地区社会教育委員連絡協議会代議員は横山委員にお願いしてはいかがでしょうか。

	<全員拍手で了承>
	<中村委員・横山委員了承>
廣川議長	では、青少年育成センター運営委員に中村委員、中越地区社会教育委員連絡協議会代議員に横山委員をお願いすることになりました。よろしくお願いたします。続いて、議題（５）「社会教育団体の補助金について」ご説明をお願いします。
金子課長	市の方針として、ほぼ全ての団体が昨年度の実績よりも10%減の額となっています。PTA連合会については、昨年20万円だったところ、今年は15万円で25%減となっていますが、これは合併時に合意されたことで、このようになっております。
廣川議長	報告事項ととらえてよろしいですね。 では、議題（６）「社会教育委員の研修について」ご説明をお願いします。
近藤係長	<「社会教育委員の研修」について資料に基づき説明> 新任社会教育委員研修会には、このたび新任の4名の方が対象ですので、ご都合の悪い方は、後ほどお知らせください。また、県社会教育研究大会兼中越地区社会教育研究集会は、全員出席をお願いします。 関ブロ社会教育研究大会については1名の参加ですので、どなたが参加されるか、本日決めていただきたいと思います。
	<委員の話し合いにより、阿部委員が参加することに決定>
廣川議長	全体を通して、ご質問等はありませんか。 無いようですので、以上をもちまして、第1回社会教育委員会議を終了いたします。 <会議録調整に関する確認事項の読上げ> 次回へ向けて、テーマの方向づけができたと思います。ありがとうございました。

15：50閉会